



大江戸線延伸促進大会を開催

去る10月30日延伸実現に向けた機運を改めて示すとともに早期着工を東京都にもとめるための大江戸線延伸促進大会が、地域住民だけでなく区内全域の商店会、町会、産業界などと一体になり1,200名以上参加のもと熱気に包まれて開催されました。大江戸線延伸の早期実現に対する多くの区民の悲願そのものと考えられます。



大江戸線を大泉学園町へ！ 一日も早い整備着手をめざして！



新年を迎えて



練馬区議会議員 第六十七代 議長

かしわざき強

平成22年	総合計画等特別委員会	委員長
平成24年	区議会自由民主党	幹事長
	議会運営委員会	委員長
平成25年	練馬区監査委員	就任
平成26年	予算特別委員会	委員長
平成27年	第67代	議長

PROFILE

岩手県人会 副会長
長野県人会 顧問
大江戸線延伸期成同盟 前副会長
東京練馬西ロータリークラブ 会員
練馬区大泉町4丁目町会 会長
株式会社かしわざき創業 (21歳)

自民党を代表して

一般質問を行う！

〔抜粋〕

11月21日 第四回定例議会一般質問において大江戸線延伸促進大会における決議も含まえ、今後、東京都に対して早期着工に向けた取り組みを促していくべきと区長に強く質問を行い、所見を伺いました。

大江戸線延伸着工に向けた取組を。

《要旨》平成23年4月に提案を受け止め設置いただいた大江戸線延伸基金は厳しい財政状況の中にあつて29年度までの合計36億円とする計画を発表、大江戸線延伸に邁進する区長の姿勢を評価する。交通政策審議会では、事業化に向けては、関係地方公共団体、鉄道事業者間で、費用負担のあり方について合意形成を進めるべきとしています。私は費用負担のあり方については、従来の事例にとらわれず、柔軟な発想に立ち、大江戸線延伸基金を積極的に活用していただきたい。事業化に向けて区の姿勢を内外に示すためにも大江戸線延伸基金の更なる積み増しを要望する。

公共交通空白地域 改善について伺う。

《要旨》次に公共交通空白地域改善について伺う。練馬区に限らず、高齢化が進んでおり、それにとともに、バス亭までの数百メートル程度の歩行が困難である方も増えている。高齢化が特に進む大泉学園町(北西側)や、地形上の高低差が大きく、上り坂などで苦勞が絶えない大泉町1丁目付近などの取り組みは大江戸線の延伸を待つことなく地域では、早急に対策を進めるべきと考えるが如何か。

《答弁》大泉町や大泉学園町(北西側)地域の交通便利性を高めるためには、大江戸線延伸の実現が不可欠であります。延伸が実現するまでの間も、バスルートの再編やバス停の増設など、公共交通空白地域の改善に早急に取り組んでまいります。新駅予定地のアクセスなどあらためて検討する。

《答弁》鉄道事業者から着工の判断を得るには、これからの正念場があります。都との実務的な協議を更に進め、着工への第二歩となる調査・手続きの実施を東京都に求めていく。基金の効果的な活用方法や基金の更なる積み増しを検討してまいります。大江戸線延伸を見据えた新駅予定地周辺のまちづくりを着実に進め、延伸の早期着工へとつなげていく。



かしわざき強のホームページ →→→ <http://www.t-kashiwazaki.com>

どんなご相談でも…
かしわざき強事務所

〒178-0062 東京都練馬区大泉町 4-34-5
Tel: 03-3924-7789 Fax: 03-3924-7729